

住民サービスの向上に向けた 証明書コンビニ交付サービスの取り組み

平成25年度 コンビニ交付推進セミナー
名古屋会場
平成25年8月1日(木)

福島県白河市市民生活部
市民課 大森 仁

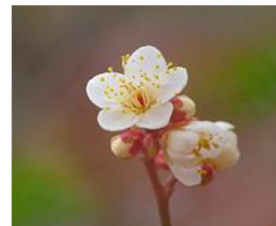
白河市の沿革

白河市の成り立ち

平成17年11月 旧白河市、表郷村、大信村、東村の1市3村が合併し白河市が発足

白河市の概要(平成25年3月31日現在)

人 口： 63, 445 人
世 帯： 23, 676 世帯
総面積： 305. 3 km³



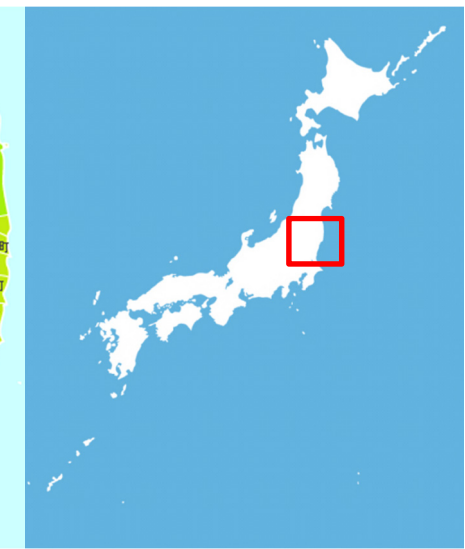
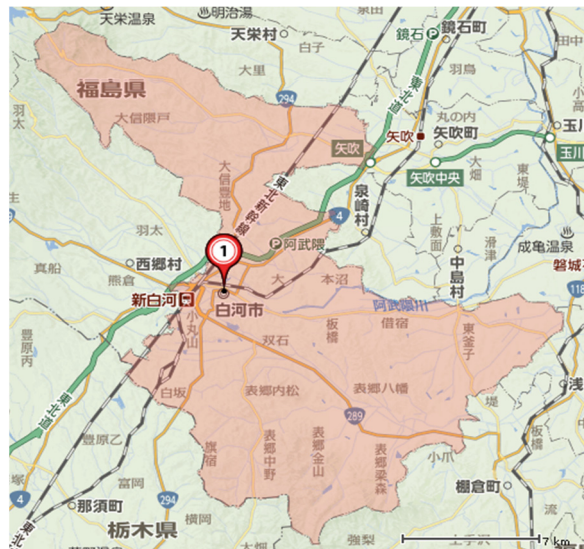
市の花 [ウメ]



市の木 [アカマツ]



市の鳥 [ウグイス]



白河市の歴史と伝統文化

歴史遺産

白河の関



南湖公園



幕府の要衝
小峰城

白河提灯祭り



伝統文化

白河だるま市



証明書自動交付機の導入

証明書自動交付機導入の流れ

経緯

平成15年10月	旧表郷村で独自磁気カードを利用した自動交付サービスを実施
平成16年 2月	合併協議にて新市における自動交付機導入を決定 戸籍の電算化を実施
平成18年 3月	合併4市村の庁舎に、住基カードを利用した 新システムの自動交付機各1台(計4台)を設置



住民票の写し

印鑑登録証明書

所得・課税証明書

戸籍証明書



合併時における
住基カード発行枚数
477枚



課題
住基カードの普及拡大

コンビニ交付への移行

コンビニ交付移行の背景

平成23年度当時の自動交付機の状態

- ・ Windows2000のサポート終了
- ・ 設置場所に起因する障害の多発
- ・ 東日本大震災による被害(自動交付機の直接被災等)



対象交付証明書の状況

自動交付機

住民票の写し
印鑑登録証明書
所得・課税証明書
戸籍証明

コンビニ交付

住民票の写し
印鑑登録証明書

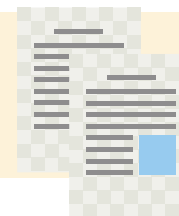
コンビニ交付が所得・課税証明書、戸籍証明書の交付に非対応
⇒コンビニ交付へ移行することによる、住民サービスの低下を懸念



自動交付機を更新する方向で共通認識

コンビニ交付への移行

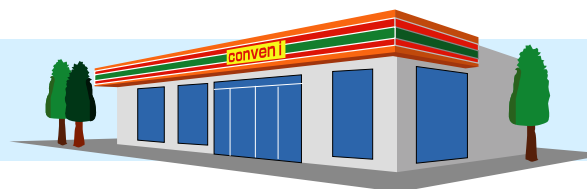
平成23年5月 コンビニ交付において、「税証明書」、「戸籍証明書」も
交付対象となる連絡を受ける



現行の住民サービスを維持
＋
広域交付の実現、取扱時間の拡大
＝
更なる住民サービスの向上

コンビニ交付システムへの方針転換

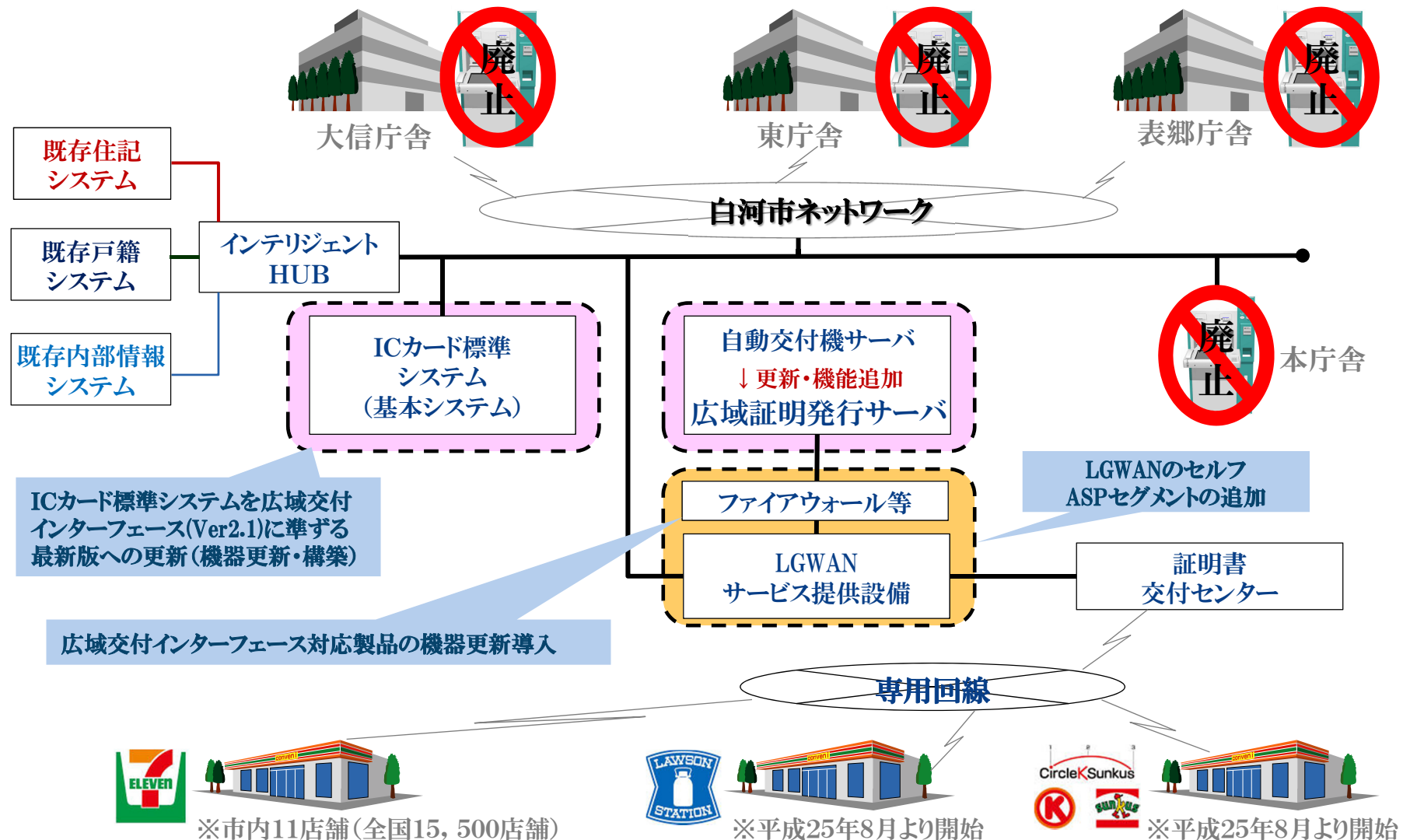
平成24年7月9日 コンビニ交付運用開始



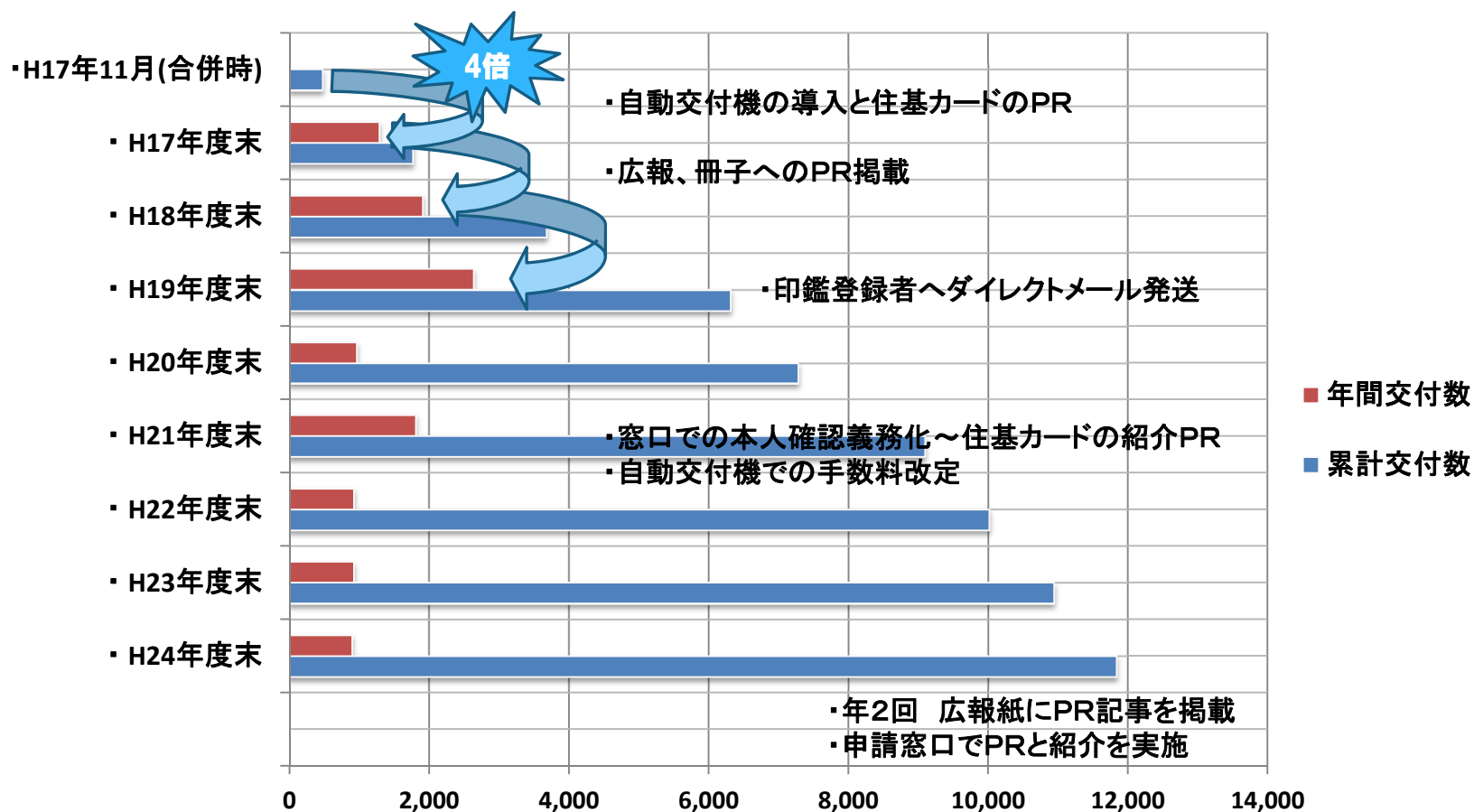
コンビニ交付システム構成

コンビニ交付導入前

- ・住基カードを利用した自動交付機による証明書交付を実施



住基カード交付枚数の推移

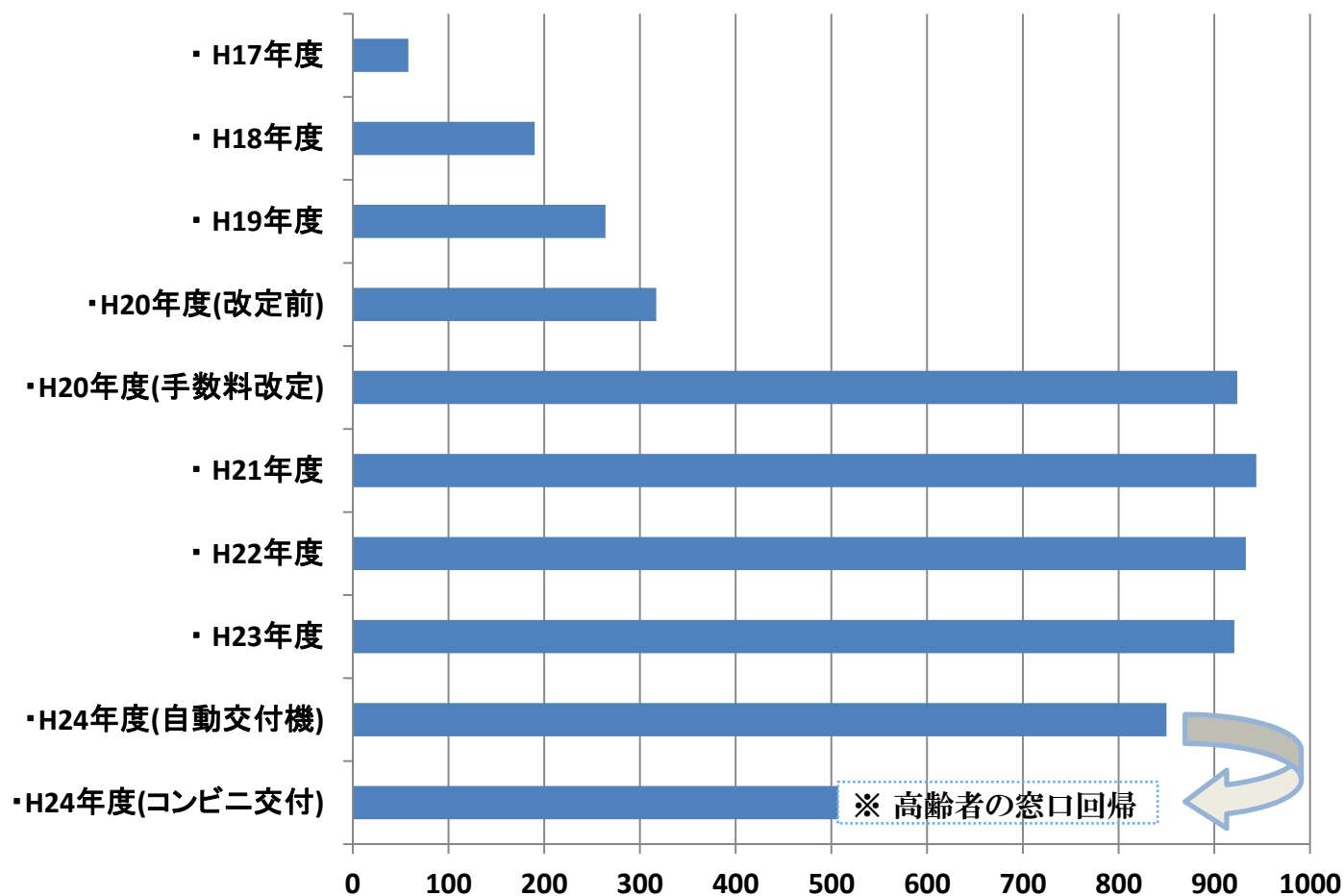


白河市全人口に占める保有率：14.7%

15歳以上の日本人にかかる保有率は17.1%

自動交付機取扱い状況の推移

自動交付機の取扱い件数(月平均)



白河市証明書発行件数に
占める交付機での割合

年度	自動交付機 発行比率
平成21年度	15.8%
平成22年度	17.0%
平成23年度	17.4%
平成24年度	15.9%

コンビニ交付の効果

コンビニ交付によるメリット

1. 証明書取得可能場所が増大



2. 取扱い時間の拡大

【自動交付機】本庁舎・・・午前8時30分～午後8時00分（年末年始を除く）

各庁舎・・・午前9時00分～午後5時00分（土・日・祝祭日を除く）

【コンビニ交付】午前6時30分～午後11時（年末年始を除く）

*** 住基カードを所持していれば、全国各地で各種証明書の取得が可能！**

3. 経常経費の圧縮 : 1,744円/枚 ➡ 1,544円/枚 **11.5%/枚の削減**

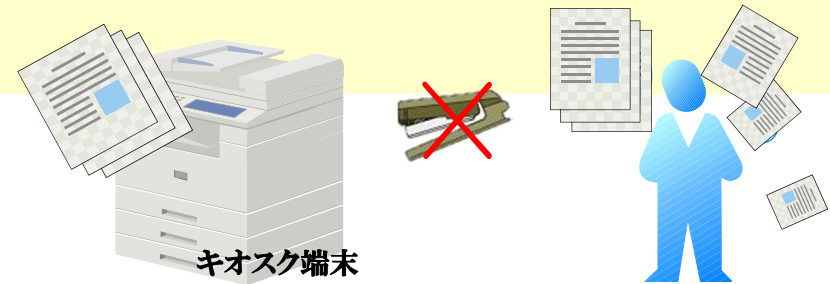
4. 更新費用の削減 : 証明書発行サーバを更新するのみ **約8%/年の削減**

コンビニ交付の効果

コンビニ交付によるデメリット

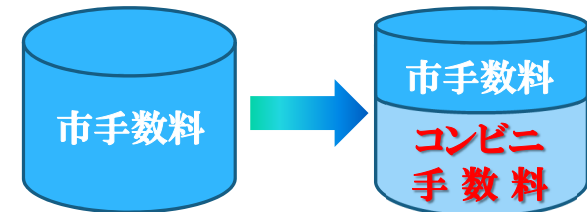
1. 出力帳票のホチキス止め

- 複数枚数出力時の取り忘れ
- ページ抜けでの提出先へ提出
- 世帯票を取得し、その一部を提出



2. 交付手数料収入が減少

- コンビニに対し手数料として、120円／件を納入
- 証明書交付手数料が減少することにより、
維持経費の実質負担額が増加



3. コンビニ交付運営負担金

- コンビニ交付運営負担金の財源確保



みんなの力で未来をひらく
歴史・文化のいきづくまち



白河

御清聴ありがとうございました。